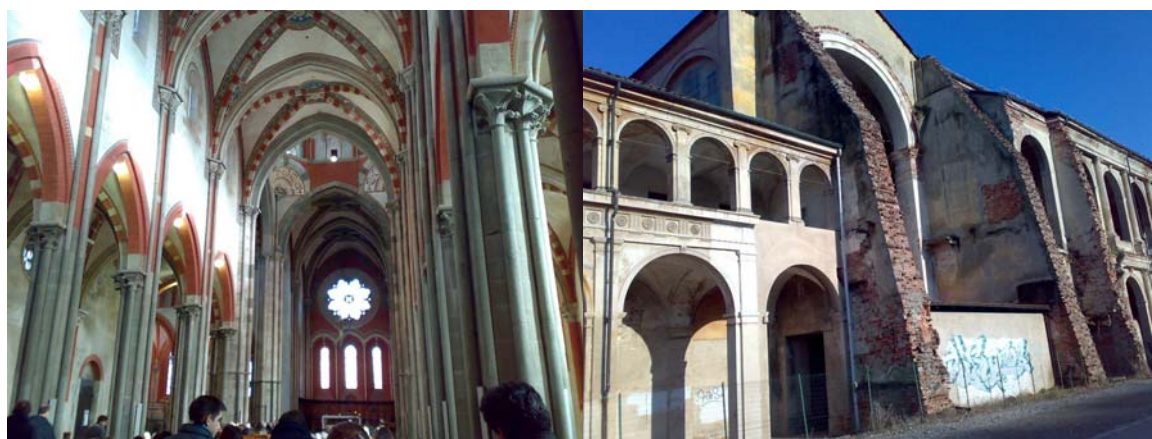


ヴェルチェッリ

日曜日には天気が回復して晴れ間が広がり、どこかに出かけないともったいない日となったのでアパートを午前中に出ました。天気が良いのですから田舎のお城を訪ねる予定でしたが、日曜日なのでバス（1日に3本しかない）に乗る事が出来ず、急遽、行き先を変更して、ミラノからトリノ行きの普通列車でノヴァラの一つ先にあるヴェルチェッリを訪ねることにしました。ヴェルチェッリは、ノヴァラの南に位置している人口 53,000 人でケルト人起源の古い街です。紀元前 2 世紀にローマ共和国の侵略が始まり、紀元前 1 世紀からローマ帝国に属し、他のローマ都市と同様に紀元 3,4 世紀まで栄えていました。宗教的には、ヴェルチェッリに大司教が置かれ 4 世紀には聖エウゼビオが大司教となっています。その後、ロンバルディ王国を経て、自治都市として 13 世紀まで栄えますが、14 世紀にミラノのヴィスコンティ家の支配、15 世紀にはトリノのサヴォイ家支配の下に入りました。19 世紀に入ってイタリアの独立戦争でヴェルチェッリは大きなダメージを受けてしまいました。

古い街なので、ローマ時代の遺跡が在るのではないかと考えていましたが、観光スポットにローマ遺跡はありません。その代わりに宗教的な建物が多く教会があちこちにあります。また、サヴォイ家支配の時代に建てられたと思われる宮殿も多く、まるで小トリノのようです。観光には余力を入れているようには見えません。ツアーインフォメーションはありますが、観光客はまばらです。

ヴェルチェッリ駅には 12 時過ぎに到着し、まずは、ヴェルチェッリ駅の目の前にあるサンタンドレア修道院から見る事にしました。列車の中からも 4 つの塔がそびえているのを何度か見ているので、ここには、いつか来てみたいと思っていました。大きくて素晴らしい教会です。自治都市時代の 13 世紀初頭に建てられた教会ですが、ロマネスク建築からゴシック建築に移った当初の建物です。外見の素晴らしさに比べると内装はとても質素でした。日曜日のミサ中でもあり、中はじっくりと見ていません。また、同時代に建てられた古い病院跡がその直ぐ近くにあります。



修道院の裏手に聖エウゼビオのドゥオモがあります。ヴェルチェッリの守護聖人である聖エウゼビオを拜しています。ここも自治都市時代の12世紀に建てられたのですが、鐘楼以外はバロック建築に建て直され、12世紀のロマネスク建築の建物は鐘楼だけです。ここもミサ中で、じっくりと内装を見ることが出来ませんでした。内装は質素でフレスコ画はなく礼拝堂に宗教画があるだけでした。



街中で教会の密度はミラノよりも多く宗教色の強い街なのです。但し、サン・ベルナルド教会（下の写真）は12世紀建造ですが、それ以外は15~18世紀に建てられたものです。18世紀の宮殿や貴族の邸もたくさんあり、これらの歴史的建造物には看板が出ていますので直ぐにわかります。街の中心はカヴール広場で、大きなゆったりとした広場です。広場の周りには古いアーケード、カフェが立ち並び、街の人たちの憩いの場になっています。また、比較的古い中世の建物が並び、それらを見渡すことが出来るとても雰囲気の良い広場です。



カヴール広場からもいくつかの中世の塔を見ることが出来ますが、街中を歩いていると、あっちこつちに中世の塔があります。先ほどのサンタンドレア修道院の4つの塔、ドゥオモの鐘楼も高い塔ですが、それ以外にもたくさんあります。教会の鐘楼以外の塔は、普通の中世の建物から生えているように出てきています。それも、いろいろな形をしているので興味深く見る事が出来ました。



もちろん、他の街と同じように、博物館とカステッロもあります。カステッロは街の中にあるので、それほど目立ちませんが、4つの城塔の4角いお城で、保存状態が良くほとんど昔のままの状態です。



日本からヴェルチェッリに直接来た人なら、中世ヨーロッパ的な街並に感動するのでしょうか、イタリアの都市をいくつか訪ねたことのある人たちには、イタリアにある標準的な街であると感じるだけ

だと思います。正直、特にこれという特徴がない街なのでそのように感じてしまいました。それでも、中世の街並みの残っているイタリアの街です。サンドナートに比べれば観光名所も比較にならないほどあります。この日は、天気が良く気温も上がり、散歩するにはちょうど良い広さの街なので、中世の街並みを見ながら約2時間半、気分の良い散策ができました。

ヴェルチェッリには、ミラノ中央駅からトリノ行き普通列車に乗り、ノヴァラの次の駅で降ります。列車から駅前にあるサンタンドレア修道院の4本の塔が見えますのでわかりやすい駅です。ミラノ中央駅から、ほぼ1時間の乗車です。料金は片道4.5ユーロで、駅も大きくトイレもきれいです。ヴェルチェッリ駅前からは南の石灰岩の山岳地域であるモンフェッラートに行くバスが出ています。景色の良さそうなところですので、暖かくなったらそっちのほうにも足を延ばしてみたいと思います。

追記

ページが中途半端になりましたので、サンドナートに戻る前にミラノのドゥオモ広場に寄ってきましたので、その写真を追加しておきます。日曜日だというのに、モンテナポレオーネ通り、ヴィットリオ・エマヌエルII通り、ガレリア、ドゥオモ広場、メルカンティ広場、トリノ通りは人で一杯でした。たくさんの方がブランドの袋をさげて歩いています。冬のバーゲンが真っ盛りなのですね。今年は、不景気を意識してバーゲンの初めから50%引きになっています。バーゲンの終わりの頃には70~80%くらい引いてしまうのではないのでしょうか。

